

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年10月15日
【四半期会計期間】	第38期第2四半期（自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日）
【会社名】	株式会社ピクルスコーポレーション
【英訳名】	PICKLES CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 宮本 雅弘
【本店の所在の場所】	埼玉県所沢市くすのき台3丁目18番地の3
【電話番号】	04(2998)7771（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長兼財務部長 三品 徹
【最寄りの連絡場所】	埼玉県所沢市くすのき台3丁目18番地の3
【電話番号】	04(2998)7771（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長兼財務部長 三品 徹
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

## 第1【企業の概況】

## 1【主要な経営指標等の推移】

回次		第37期 第2四半期連結 累計期間	第38期 第2四半期連結 累計期間	第37期
会計期間		自 平成24年 3月1日 至 平成24年 8月31日	自 平成25年 3月1日 至 平成25年 8月31日	自 平成24年 3月1日 至 平成25年 2月28日
売上高	(千円)	12,681,523	13,473,535	24,063,636
経常利益	(千円)	630,209	863,592	974,587
四半期(当期)純利益	(千円)	374,827	542,758	570,959
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	372,320	559,823	590,372
純資産額	(千円)	6,558,698	7,261,338	6,778,250
総資産額	(千円)	14,373,797	16,150,127	13,786,021
1株当たり四半期(当期)純 利益金額	(円)	58.62	84.88	89.29
潜在株式調整後1株当たり四 半期(当期)純利益金額	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	45.6	44.9	49.1
営業活動によるキャッシュ・ フロー	(千円)	397,049	679,891	741,722
投資活動によるキャッシュ・ フロー	(千円)	119,346	439,497	484,878
財務活動によるキャッシュ・ フロー	(千円)	32,233	69,606	134,280
現金及び現金同等物の四半期 末(期末)残高	(千円)	2,082,594	2,205,223	1,895,221

回次		第37期 第2四半期連結 会計期間	第38期 第2四半期連結 会計期間
会計期間		自 平成24年 6月1日 至 平成24年 8月31日	自 平成25年 6月1日 至 平成25年 8月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	44.50	37.85

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和などの各種政策による円安や株価上昇により、景気回復への期待が高まっておりますが、海外景気に対する不安感や原材料価格の上昇など、依然として経済環境の不透明感は払拭されない状況が継続しております。

食品業界におきましては、消費者の安全・安心、低価格志向が続く中、プライベートブランド商品の開発、円安による原材料価格の高騰への対応や食の安全・安心への取り組み強化などが求められております。

このような状況のもと、当社グループは、全国の製造・販売拠点を活用した営業活動、CMなどの広告宣伝活動及び売場提案などの販売促進活動を積極的に実施し、既存得意先への拡販や新規取引先の開拓を行いました。

製品開発面では、独自に研究した植物性乳酸菌・Pne-12(ピーネ12)を使用した「生きて腸まで届くピーネ乳酸菌キムチ」やビザラとのコラボレーション商品「ご飯がススムエビマヨキムチ」などの開発を行い、販売をいたしました。

製造面では、中国・四国地区での新たな生産・販売拠点として、子会社である㈱ビックルスコーポレーション関西の広島工場が完成し、6月より製品出荷を開始いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高については、「ご飯がススムキムチ」や「川越達也オスメキムチ」などのキムチ製品や惣菜製品が好調に推移し、13,473百万円(前年同四半期比6.2%増)となりました。利益につきましては、広島工場稼働による経費増などがありましたが、原料野菜の仕入価格が安定したことや、売上高増加による影響などにより、営業利益770百万円(同31.2%増)、経常利益863百万円(同37.0%増)、四半期純利益は542百万円(同44.8%増)となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて2,364百万円増加し、16,150百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金、及び建物及び構築物(純額)の増加によるものであります。

負債については、前連結会計年度末に比べて1,881百万円増加し、8,888百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加によるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べて483百万円増加し、7,261百万円となりました。

#### (3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ310百万円増加し、2,205百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、679百万円(前年同四半期は397百万円の増加)となりました。収入の主な要因は税金等調整前四半期純利益、仕入債務及び減価償却費の増加であり、支出の主な要因は売上債権の増加及び法人税等の支払額であります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、439百万円(前年同四半期は119百万円の減少)となりました。主な要因は有形固定資産の取得によるものです。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は、69百万円(前年同四半期は32百万円の増加)となりました。収入の主な要因は長期借入れによる収入であり、支出の主な要因は長期借入金の返済による支出であります。

## (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費は90,075千円であります。

## (6) 主要な設備

前連結会計年度末に計画中であった設備計画のうち、当第2四半期連結累計期間に完了したものは、次のとおりであります。

会社名 事業所名	所在地	事業の 種類	設備の 内容	投資金額 (千円)	資金調達方法	完了年月	完成後の増 加能力
(株)ピクルスコーポ レーション関西 広島工場	広島県 府中市	浅漬製造	生産設備	920,205	自己資金及び 借入金	平成25.6	(注)2

(注)1 金額には消費税等を含めておりません。

2 完成後の増加能力は50,000パック/日であります。

## 第3【提出会社の状況】

## 1【株式等の状況】

## (1)【株式の総数等】

## 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	23,592,000
計	23,592,000

## 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年8月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年10月15日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,398,000	6,398,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	6,398,000	6,398,000	-	-

## (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

## (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

## (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

## (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年6月1日～ 平成25年8月31日	-	6,398,000	-	740,900	-	707,674

## (6) 【大株主の状況】

平成25年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
東海漬物株式会社	愛知県豊橋市駅前大通2-28	3,178	49.67
荻野芳朗	埼玉県所沢市	254	3.97
株式会社埼玉りそな銀行	埼玉県さいたま市浦和区常盤7-4-1	183	2.86
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区丸の内1-3-3	180	2.81
株式会社セブン-イレブン・ジャパン	東京都千代田区二番町8-8	140	2.19
ピクルスコーポレーション従業員持株会	埼玉県所沢市くすのき台3-18-3	130	2.04
南紀梅干株式会社	和歌山県日高郡みなべ町晩稲1225-5	100	1.56
長田ヒデ子	東京都練馬区	90	1.41
大羽恭史	愛知県豊橋市	89	1.41
大羽邦明	東京都杉並区	81	1.27
計	-	4,426	69.19

## (7) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成25年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 3,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,393,700	63,937	-
単元未満株式	普通株式 900	-	-
発行済株式総数	6,398,000	-	-
総株主の議決権	-	63,937	-

(注) 「単元未満株式」には、当社所有の自己株式15株が含まれております。

## 【自己株式等】

平成25年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ピクルスコーポ レーション	埼玉県所沢市くすのき台3 -18-3	3,400	-	3,400	0.05
計	-	3,400	-	3,400	0.05

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人日本橋事務所により四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,895,221	2,205,223
受取手形及び売掛金	2,192,020	3,466,560
商品及び製品	128,947	160,942
仕掛品	36,988	35,139
原材料及び貯蔵品	140,963	190,191
繰延税金資産	55,331	55,069
その他	72,179	62,401
貸倒引当金	1,981	3,281
流動資産合計	4,519,670	6,172,246
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,790,112	2,416,914
機械装置及び運搬具(純額)	551,376	680,285
土地	6,058,211	6,058,351
リース資産(純額)	101,083	89,166
建設仮勘定	93,007	2,000
その他(純額)	14,072	25,180
有形固定資産合計	8,607,864	9,271,898
無形固定資産	79,422	77,937
投資その他の資産		
投資有価証券	291,808	348,051
繰延税金資産	192,906	185,548
その他	134,348	94,906
貸倒引当金	40,000	461
投資その他の資産合計	579,064	628,045
固定資産合計	9,266,351	9,977,881
資産合計	13,786,021	16,150,127

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,836,643	2,734,486
短期借入金	850,000	762,850
1年内返済予定の長期借入金	915,449	1,438,774
リース債務	41,319	41,815
未払法人税等	138,385	324,809
賞与引当金	91,074	86,109
役員賞与引当金	42,700	-
その他	727,509	1,438,774
流動負債合計	4,643,080	6,827,619
固定負債		
長期借入金	1,408,678	1,151,106
リース債務	116,965	95,930
繰延税金負債	7,941	9,191
退職給付引当金	271,958	263,764
役員退職慰労引当金	126,382	127,553
負ののれん	397,308	378,538
その他	35,457	35,085
固定負債合計	2,364,691	2,061,169
負債合計	7,007,771	8,888,789
純資産の部		
株主資本		
資本金	740,900	740,900
資本剰余金	669,100	669,100
利益剰余金	5,344,183	5,810,206
自己株式	1,407	1,407
株主資本合計	6,752,776	7,218,799
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,093	34,875
その他の包括利益累計額合計	18,093	34,875
少数株主持分	7,380	7,663
純資産合計	6,778,250	7,261,338
負債純資産合計	13,786,021	16,150,127

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
売上高	12,681,523	13,473,535
売上原価	9,727,000	10,167,212
売上総利益	2,954,522	3,306,322
販売費及び一般管理費	2,367,385	2,535,941
営業利益	587,137	770,381
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	2,633	2,773
負ののれん償却額	18,770	18,770
持分法による投資利益	12,099	27,638
受取賃貸料	8,574	8,574
事業分量配当金	5,883	6,469
貸倒引当金戻入額	-	28,239
その他	10,967	15,010
営業外収益合計	58,930	107,478
営業外費用		
支払利息	15,665	14,267
その他	193	-
営業外費用合計	15,858	14,267
経常利益	630,209	863,592
特別利益		
投資有価証券売却益	-	999
補助金収入	2,433	862
受取補償金	33,164	-
特別利益合計	35,598	1,862
特別損失		
固定資産処分損	1,565	574
固定資産圧縮損	11,550	-
特別損失合計	13,116	574
税金等調整前四半期純利益	652,690	864,880
法人税等	276,117	321,800
少数株主損益調整前四半期純利益	376,573	543,079
少数株主利益	1,745	321
四半期純利益	374,827	542,758

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	376,573	543,079
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,253	16,743
その他の包括利益合計	4,253	16,743
四半期包括利益	372,320	559,823
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	370,594	559,539
少数株主に係る四半期包括利益	1,725	283

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	652,690	864,880
減価償却費	179,333	211,240
固定資産処分損益(は益)	1,565	574
固定資産圧縮損	11,550	-
のれん償却額	-	1,859
貸倒引当金の増減額(は減少)	201	38,239
賞与引当金の増減額(は減少)	33,343	4,965
役員賞与引当金の増減額(は減少)	39,100	42,700
退職給付引当金の増減額(は減少)	16,604	8,193
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	3,612	1,171
負ののれん償却額	18,770	18,770
持分法による投資損益(は益)	12,099	27,638
受取利息及び受取配当金	2,635	2,775
支払利息	15,665	14,267
補助金収入	2,433	862
受取補償金	33,164	-
投資有価証券売却損益(は益)	-	999
売上債権の増減額(は増加)	484,830	1,274,540
たな卸資産の増減額(は増加)	67,000	79,374
仕入債務の増減額(は減少)	479,029	897,843
その他	32,778	331,999
小計	699,251	824,776
利息及び配当金の受取額	2,915	3,055
利息の支払額	15,419	13,026
法人税等の支払額	302,502	135,777
補助金の受取額	2,433	862
補償金の受取額	10,371	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	397,049	679,891
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	112,466	429,601
無形固定資産の取得による支出	4,170	8,361
投資有価証券の取得による支出	2,615	3,368
投資有価証券の売却による収入	-	1,500
その他	93	334
投資活動によるキャッシュ・フロー	119,346	439,497
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	100,000	87,150
長期借入れによる収入	400,000	550,000
長期借入金の返済による支出	142,526	284,247
リース債務の返済による支出	10,726	20,539
割賦債務の返済による支出	19,095	12,028
自己株式の取得による支出	31	-
配当金の支払額	95,387	76,427
財務活動によるキャッシュ・フロー	32,233	69,606

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	309,936	310,001
現金及び現金同等物の期首残高	1,772,658	1,895,221
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,082,594	2,205,223

## 【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

## (税金費用の計算)

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

## 【注記事項】

## (四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
運搬費	1,196,505千円	1,269,777千円
給与及び手当	583,503	631,233
賞与引当金繰入額	55,543	55,281
退職給付費用	13,314	11,028
役員退職慰労引当金繰入額	4,122	2,154
減価償却費	25,157	30,573

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
現金及び預金勘定	2,082,594千円	2,205,223千円
現金及び現金同等物	2,082,594	2,205,223



## (株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

## 1 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月30日 定時株主総会	普通株式	95,920	15	平成24年2月29日	平成24年5月31日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

## 2 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

## 1 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月30日 定時株主総会	普通株式	76,735	12	平成25年2月28日	平成25年5月31日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

## 2 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

当社グループは、漬物製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

当社グループは、漬物製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額	58円62銭	84円88銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	374,827	542,758
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	374,827	542,758
普通株式の期中平均株式数(株)	6,394,688	6,394,585

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年10月15日

株式会社ピククルスコーポレーション

取締役会 御中

### 監査法人日本橋事務所

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 梅 林 邦 彦 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 山 村 浩 太 郎 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 千 保 有 之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ピククルスコーポレーションの平成25年3月1日から平成26年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年6月1日から平成25年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年3月1日から平成25年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ピククルスコーポレーション及び連結子会社の平成25年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。